

～ 生産性向上で経営体質を強化！ ～

基礎知識・人財育成・IT活用をコンパクトに紹介

第17回 テクノセミナー




主催 公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部

後援 横浜商工会議所、公益財団法人 横浜企業支援財団

「働き改革」が進められる中、経営体質の強化と業務のスリム化は喫緊の課題です。また、現場での人手不足も深刻な状況になっています。このような状況下で、これまでと同じ業務内容・作業方法を続けていては、従業員の負荷は増えるばかりです。国際的に見ても、日本の労働生産性は決して高くなく、OECD加盟国の中で35か国中22位というデータもあります。まだまだ生産性の改善はできるはずです。

今回は生産性改善のポイントを、基礎知識、改善人財育成、生産シミュレーションから解説します。職場の改善と生産性向上にご関心を持つ皆様のご来場をお待ちしております。

◆講演概要

	講演1「生産性向上に役立つIEの基礎知識」 13:40～14:20 山寺 哲二 (株)イクルスマネジメント 代表取締役 技術士(経営工学) 現場には生産性向上を阻害する多くのムリ・ムダ・ムラが存在します。IE(Industrial Engineering)は、100年前に提唱され、多くの会社で実行され、ムリ・ムダ・ムラを解消して、多大な成果を上げてきました。これらの知識を使わない手はありません。簡単なワークを行いながら、先人の知恵をわかり易く解説します。
	講演2「生産性向上を実現する人づくり」 14:30～15:30 高田 淳 (株)東芝 生産調達統括部 技術士(経営工学) 製造現場のみならず、各種現場の生産性を上げ競争力につなげるには、よりよく改善していく能力を現場が身に付ける必要があります。電気メーカーにて実際に現場改善リーダーであるIE人財を育成する取り組みを紹介するとともに、現場改善のポイントを、参加者のみなさんと考えていきます。
	講演3「生産シミュレーションによる課題解決事例」 15:40～16:20 杉山 尚美 (株)東芝 生産技術センター 技術士(経営工学) 生産ラインシミュレーションは半導体・社会インフラ・家電などに代表される製品特有のモノづくりを基点としたライン構築や生産性向上施策の検証に活用されています。この生産ラインシミュレーションをヘルスケア事業のサービス分野での顧客課題解決に適用した事例を紹介します。

日時: 平成29年8月5日(土) 13:30～16:30 (受付開始13:00～)

会場: シルクセンター地下大会議室 (次ページの案内図を参照ください)

定員: 45名

会費: 一般企業の方・団体職員 無料

(但し、日本技術士会・正会員2,000円/準会員1,000円、技術士(非会員)の方は3,000円)

申込期限: 平成29年7月28日 (定員になり次第締切り)

申込方法: ◆次頁の申込書を使って FAX. 045-210-0338、

またはEメールにて次頁の申込書と同じ情報を記入して kanagawa@engineer.or.jp へ

◆日本技術士会会員の方は技術士会 HP『[会員コーナー](#)・[行事参加申込](#)』からお申し込みください

★無断欠席された場合は、費用を後日請求させていただきます。

問合わせ: 公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部事務局

TEL:045-210-0337、FAX:045-210-0338

第17回テクノセミナー
 ～ 生産性向上で経営体質を強化！ ～

基礎知識・人財育成・IT活用をコンパクトに紹介

参加申込書

申込 FAX : 045-210-0338 (公益社団法人日本技術士会神奈川県支部)

開催日時 平成29年8月5日(土) 13:30 ~ 16:30 (受付開始 13:00 ~)

会場 シルクセンター地下大会議室 (横浜市中区山下町1番地)

アクセス JR 関内駅 / 石川町より徒歩 15分

地下鉄みなとみらい線 日本大通り3番出口より徒歩 4分

横浜市営バス: 8、20、58、109(桜木町循環)系統 日本大通り駅県庁前下車 徒歩 3分

横浜市営バス: 26系統 大棧橋下車 徒歩1分

(JR 横浜駅 東口バスターミナル / JR 桜木町駅 バスターミナルから乗車)

セミナーに参加します。	
氏名(ふりがな)	
所属組織	
部署名	
連絡先	電話: _____ FAX: _____ Eメール: _____

